
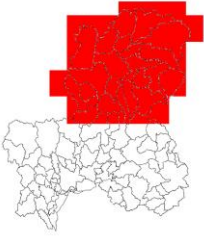


ギボウシラン	<i>Liparis aurieulata</i> Blume ex Miq	情報不足
(環境省:絶滅危惧 I B類)		ラン科
選定理由	園芸目的の採取圧がある。	<p>写真(清水英彦)</p> 
形態の特徴	高さは15-30cm。葉は広卵形でギボウシの葉のように先端は尖り、基部は心形。花は白色で穂状に多数付く。花は7-8月。	
生態的特徴	山地の樹林下で湿気た所に生える。	 <p>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</p>
分布状況	北海道、本州、九州、四国に分布する。岐阜県では飛騨地方に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取による。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項	葉がギボウシの葉に似ているので名前が付く。	
参考文献		

文責:山崎玲子